

令和3年度 冬季企画展

令和4年

1月4日(火)～3月6日(日)

# ちよっと昔の道具たち くらしのなかの布ぬの

## 館長と学芸員 河内の古道講座

○ 2月26日(土) ● 3月26日(土)

会場：当館 研修室 定員：80名

時間：13:30～15:00(13:00より受付) 参加費：200円

申込：不要【先着順】

## 体験教室「わらぢりをつくろう」

○ 2月6日(日)

会場：当館 研修室 定員：10名

時間：13:30～16:00 参加費：200円

申込：1月4日より当館窓口か、お電話でお申し込ください。

※先着順で、定員になり次第、締め切ります。

※小学5年生以上が対象ですが、小学4年生以下でも、

保護者の付き添いがあれば参加できます。

## 市民歴史大学「日本書紀と柏原」

○ 第2回 1月22日(土)

古市 晃氏(神戸大学 教授)

『鳥追い伝承とアメノユカワタナ』

○ 第3回 2月19日(土)

遠藤 慶太氏(皇學館大学 教授)

『日本書紀の成り立ち -武烈天皇から継体天皇へ-』

会場：当館 研修室 定員：80名

時間：13:30～15:00(13:00より受付) 参加費：200円

申込：Eメールもしくは往復はがきにて、①～④を明記の上お申し込みください。

①ご希望の回 ②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号

●申込先 Eメール…rekishi@city.kashiwara.lg.jp

往復はがき…〒582-0015 柏原市高井田1598-1

柏原市立歴史資料館

●応募締切 第2回…1月12日(水) 必着

第3回…2月 9日(水) 必着

※メール・はがき1通につき、1名でひとつの講演会にお申し込みください。

※応募者多数の場合は抽選。結果は、返信メール又は復信はがきでお知らせします。

※当館窓口、電話での申し込みはできません。

◆新型コロナウイルス感染症の状況により、展示・講演会を中止または延期する場合があります。

◆館内では、マスクの着用、手指の消毒、対人距離の確保をお願いします。

## 柏原市立歴史資料館

月曜休館(祝日は開館) 入館無料

9:30～17:00(入館は16:30まで)

大阪府柏原市高井田 1598-1 ☎072-976-3430

JR 大和路線 高井田駅から徒歩約6分

近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩約15分

歴史資料館  
ホームページ



# ちょっと昔の道具たち

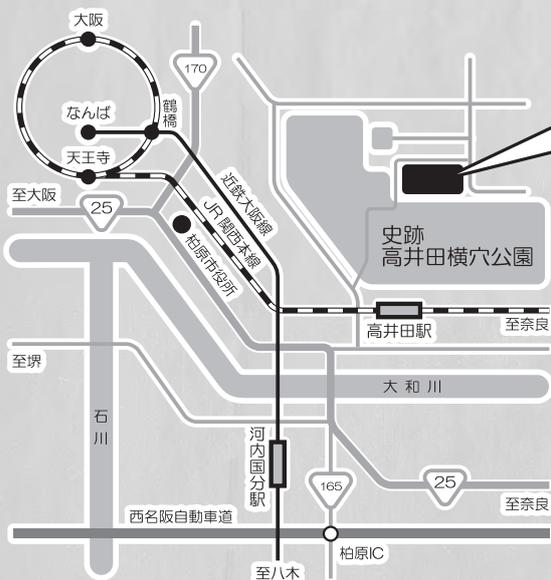
# ぬの くらしのなかの布

わたしたちにとって、布は欠かすことができない大切な道具です。寒さをしのいだり、おしゃれをするための服、店の入口にかけるのれん、<sup>ふとん</sup>布団やクッションなど、布はさまざまな利用がされています。布の歴史をたどると、<sup>もめん</sup>木綿づくりの広まりが大きな出来事でした。大阪では、1704年の大和川付け替えにより、かつての大和川は<sup>やまとがわ</sup>淀として生まれかわり、綿づくりがとても盛んになりました。それと同時に、<sup>はたお</sup>機織りの道具や、手入れをするためのアイロンなど、布に関係する道具も広まってきました。

<sup>てんじ</sup>展示をとおして、わたしたちは布とどうつきあってきたのか見てみましょう。

## おもな展示資料

- ◆服をまとう…<sup>ながぎ</sup>長着、<sup>はおり</sup>羽織、<sup>しょうぼうふく</sup>消防服
- ◆布をキレイに…<sup>せんたくいた</sup>洗濯板、アイロン
- ◆木綿から布へ…<sup>たかばた</sup>糸車、<sup>かわちもめんぬの</sup>高機、<sup>河内木綿布</sup>河内木綿布
- ◆縫う…<sup>ぬ</sup>足踏みミシン、<sup>さいほうばこ</sup>裁縫箱
- ◆染める…<sup>そ</sup>注射型紙 <sup>ちゅうせんかたがみ</sup>ほか



## 柏原市立歴史資料館

9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

月曜休館 (祝日は開館) 入館無料

☎072-976-3430

大阪府柏原市高井田 1598-1

JR 大和路線 高井田駅 北へ 6 分

近鉄大阪線 河内国分駅 北へ 15 分